

「化石の卒業制作(9)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka



その後「アンモナイト(中生代)」「サメの歯(第三紀)」「有孔虫(第四紀)」とボードに貼り、完成!



これは男児の作品。地層の中に化石のかわいい絵が描いてあって、楽しい。アンモナイトのラベルの右側のイカの絵は、中生代の「ベレムナイト」だろう。



こちらは女兒の作品。地層が色分けしてあって、とても見やすい。「化石タワー」という名称も面白い。「妹に見せて、説明してあげるんだ!」と嬉しそうだった。



【子どものノートから】

「本物の化石をはった理科の卒業制作は、楽しかったです。古生代から化石をはっていったら、中生代や新生代のやつを、どんどんはっていきと、何か自分で地層を作っているような気分になりました。これで理科が終わりなのはさみしいけど、最後の活動はとても良い思い出になりました。ありがとうございました!」

結局これが、小学校最後の理科の活動になってしまった。でも子どもたちの満足そうな顔を見たら、一生懸命教材研究をして、準備をしてきて、本当によかったと思った。